



「愛」・「夢」・「絆」・「命」

～ 家庭・学校・地域の教育フォーラム ～



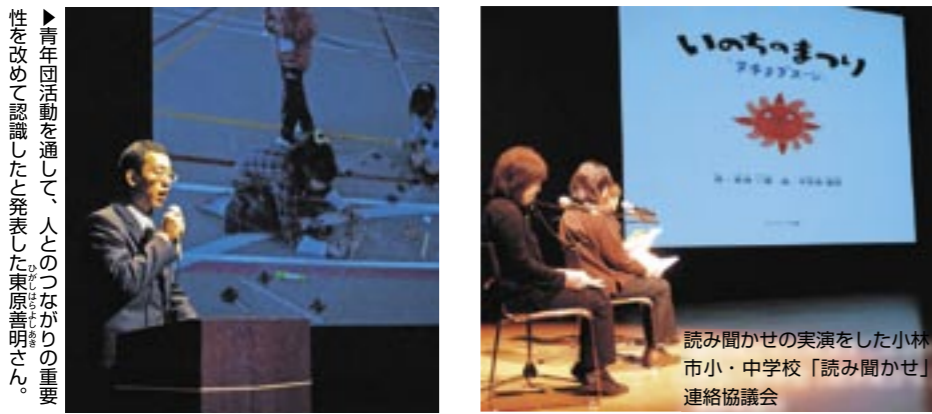
愛 がテーマの第1部は、善行青少年の表彰や、地域における青少年健全育成の事例発表などを実施。学校支援地域本部事業の事例発表で三松校区の取り組みを紹介したほか、「伝えたいメッセージリーダー」受賞者発表では、家族や友人のあふれる愛に対し、心からの感謝が発表されました。



【写真左上】西小林保育園の「和太鼓（屋台囃子）」
 【写真左下】栗須小文化財愛護少年団 郷土芸能「鉦踊り」
 【写真上】少林寺流空手道 錬心館「輝け いのち！」



絆 がテーマの第3部では、家族とのふれあいを題材にした作文や三行詩を児童生徒が発表。口蹄疫を題材にした感動的な内容が続きました。また、野尻幼稚園と永久津小・中の家庭教育学級の活動などが報告され、熱心な取り組みが紹介されました。



命 がテーマの第4部は、昨年、小林市青年団協議会と合併した野尻町青年団が取り組みを紹介しました。また、宮日新聞賞教育賞を受賞した小林市小・中「読み聞かせ」連絡協議会が取り組みとともに読み聞かせを上演。優しい声の朗読を来場者はじっと聞き入っていました。



「大萩遺跡」～弥生時代の住居跡群～および野尻町歴史民俗資料館のお知らせ

引用参考文献「宮崎県史 資料編 考古 1」

Vol.35



※お詫びと訂正…広報こぼやし1月号掲載の文化の足跡の標題は「野尻城址」でした。お詫びして訂正します。

3月11日、野尻町歴史民俗資料館常設展示がリニューアルされます。また、3月11日（金）～3月21日（月）の期間、小林市教育委員会では、同資料館において、企画展「弥生の首長墓展－卑弥呼と同じ時代に580個のガラス製小玉と共に葬られた小林の首長－」を開催します。発掘当時に新聞等で話題となった大萩遺跡から出土した、鮮やかな水色のガラス小玉や長頸壺など、地元では初公開となる資料です。ぜひこの機会にご覧下さい。ご来場をお待ちしております。

先 月号に引き続き、大萩遺跡（野尻）についてご紹介いたします。大萩遺跡の住居跡は、土壘墓群のあった台地から南西方向に一段下った台地上に所在しています。調査された5軒は円弧状に並んでおり、当時

大萩遺跡では、計画的に住居を作り、集落が形成されていたことが伺えます。また、住居跡はすべて堅穴式ですが、縁辺の一部が張り出す特異な形をしていました。現在では、その形態から「花弁状住居」と呼ばれています。



「輝きもいろいろ、細野小学校の教育活動」

～ 小中連携や児童会活動の中から ～



全校皆が参加した小中合同あいさつ運動週間

細 野小学校は全校児童299名で、「なかま」とともに、進んで学び、たくましく思いやりのある子どもを育成」を教育目標として、知・徳・体・食の4育が調和した活動を推進しています。今年度も、宮崎県体力づくり優良校として、6年連続の受賞となりました。様々な運動に取り組み、元氣いっぱいの子供の姿は勿論ですが、そこには、5・6年生を中心とした体育委員会の陰の力が



6年生による「きちんと廊下歩行」大作戦

あります。体力テスト期間中に、動きのわからない児童や記録を伸ばしたい児童を集め、昼休みに教えてくれています。児童会の取組の中で、小中連携の一環として、あいさつ運動があります。運営委員会だけでなく、6年生全員と各学年も交代で参加して、活動に広がりができました。また、本校の課題の一つ、廊下歩行については、3年生以上で解決策を話し合い、全校で取り組んでいるところです。